

Unisys Airport Passenger Facilitation Suite



空港の旅客フローを改善しサービスレベルを向上

より快適な旅行を — 空港は利用者の期待に応え続けねばなりません。そのなかでも、空港内の手続きに伴う行列あるいはその中での待ち時間は旅客の満足度に直結します。混雑空港はもちろん、これから就航便と旅客を増やそうとする空港でも、旅客フローの改善はつねに空港ターミナル運営の課題です。空港自身にとっても、搭乗前の飲食やショッピングなどの航空外収入増大、ドアツードアの総所要時間短縮による交通間競争での優位性強化、といったメリットが旅客フローの改善を通じてもたらされます。

施設と人員の制約の下、法制上の要求を満たしながらそれを実現するには、空港運営者、航空会社、旅客ハンドラがそれぞれ適切にテクノロジーを活用し、プロセスとオペレーションを再構築する必要があります。

ユニシスは、空港内外での旅客プロセスのためのソリューションを提供して旅客フローの改善と満足度の向上に貢献します。チェックイン、手荷物受託、ロードプランニング、搭乗といった一連のプロセスをカバーするとともに、旅客セルフサービスのための自動チェックイン機運用、ウェブ・チェックイン、さらにホームプリント・タグも用意されています。これらのソリューションはIATA(国際航空運送協会)が掲げるFast Travelの理念に沿うものとなっており、コモンユース(空港設備の共用)環境で様々なセルフサービスを運用しようとする際特に効果を発揮します。

旅客はチェックインと手荷物の手続きをスピーディに終わらせられ、スタッフの運用負荷を最小化。先進テクノロジーと業界標準に基づき、様々な既存旅客プラットフォームとも協調して稼働します。

大小さまざまな規模の空港で、様々な形態で導入されているユニシスのソリューション。航空会社そして旅客ハンドラに活用され、スムーズな空の旅を提供しています。

Unisys APPS

Unisys APPS(Airport Passenger Processing System)は、効率的かつセキュアな旅客取扱プロセスをサポート。スピーディなチェックインからゆとりのある搭乗、定刻通りの出発まで、すぐれた旅客サービスを空港で提供するためのアプリケーションスイートです。

Unisys APPS のコンポーネント

コモンランゲージ・ファシリティ:

Unisys Common Language Facility (CLF) は、空港でのチェックインあるいは搭乗を取り扱う係員に共通の操作画面を提供するユーザーインターフェース (UI) モジュールです。特に、多数のエアラインの手続きを取り扱う旅客ハンドラではエアライン毎に異なる端末操作に対応するトレーニング/再トレーニングの負荷そして運用中の誤操作リスクを大幅に低減。スタッフの生産性が高まります。CLF によって新規エアラインの取扱をはじめ事業の選択肢が広がります。



ファスト・バッグドロップ:

Unisys Fast Bag Drop Application (UFBDA) は、各航空会社のホストシステムへの接続を意識することなく手荷物取扱を行える環境を提供します。ウェブや自動チェックイン機で手続きを済ませた旅客がコモンユースのカウンターあるいはセルフ・バッグドロップでスピーディに手荷物の預入を済ませられるようになります。セルフ・バッグドロップ機器は低コストの外付けタイプからフルサービスタイプまでサードパーティ製品を自由に選択し接続できます。

UFBDA は、フロア面積やカウンター数に制約のある旅客ターミナルの設備生産性を高め、混雑緩和あるいは容量拡張をもたらします。



ホームプリント・タグ:

ホームプリント・タグ (HPBT=Home Printed Bag Tag) は、旅客が空港に到着する前に手荷物タグをプリントできるようにセルフサービスを拡張します。空港での手続きがさらにスピードアップ、サービスレベルを向上します。ファスト・バッグドロップとの併用により一層効果が高まります。

ホームプリント・タグは Unisys APPS の一部であると同時に、単独でも SaaS (Software as a service) として提供され、あらゆるチェックイン (および Web チェックイン) システムと一体となって空港やエアラインのチェックインシステム毎の様々なプロセスに対応します。



ローカル・チェックイン:

Unisys Local Check-in Assistant (LCA) は、航空会社のホストシステムと接続せずに搭乗手続きを行うためのローカル DCS です。就航路線拡大のステップのひとつとなるチャーター便の運航時、LCA を利用することで既設のコモンユース・プラットフォームを活用、定期便同様の利便性をチャーター便旅客に提供。チャーター便の集客や定期便への移行をスムーズに進められます。

モバイル・チェックイン・アシスタント:

Unisys Mobile Check-in Assistant (mCKA) は、エアラインや旅客ハンドラのスタッフがカウンターから離れて様々な旅客サービスを提供できるコモンユース・モバイルの環境を提供します。たとえば、旅客情報の検索、予約番号入力や2次元コードスキャンによる搭乗手続き、さらにリモートプリンタからの搭乗券あるいは手荷物タグの印刷。セルフ・サービスやファスト・バッグドロップを運用するうえでネックになる「うまく手続きが進まない旅客」あるいはビザ (査証) や APIS (事前旅客情報システム) 関連といった時間のかかりがちな手続きを要する旅客への対応に際し、mCKA は理想的なツールとなります。



航空業界を支え続けるユニシス

ユニシスのソリューションは、世界の空港とエアラインそしてグランドハンドラの業務を数十年にわたり支え続けています。今この瞬間にもたとえば、

- 200以上のエアラインで
- 100以上の空港で
- 旅客チェックインの4分の1以上で

ユニシスのソリューションが利用されています。

お問い合わせ先 日本ユニシス株式会社

<http://www.unisys.co.jp/>

〒135-8560 東京都江東区豊洲 1-1-1

e-mail airports@ml.unisys.co.jp

電話 03-5546-1111(代)

Foresight in sight